

## 地域銀行の平成 27 年 9 月期決算の概要

### 1. 損益の状況（銀行単体ベース）

- 実質業務純益は、資金利益（有価証券利息配当金）の増加や経費（預金保険料）の減少等により、前年同期に比べ、5.5%の増加。
- 中間純利益は、株式等関係損益の増加等により、前年同期に比べ 16.6%の増加。

（単位：億円）

	25 年 9 月期	26 年 9 月期	27 年 9 月期	前年同期比
業務粗利益	24,173	23,909	23,947	38
資金利益	20,614	20,164	20,321	157
役員取引等利益	2,573	2,699	2,822	123
債券等関係損益	623	703	327	▲376
うち、債券等償却	▲30	▲3	▲13	▲10
経費	▲15,811	▲15,895	▲15,491	404
実質業務純益	8,361	8,013	8,454	441
与信関係費用(※)	▲695	▲83	▲127	▲44
株式等関係損益	734	393	1,161	768
うち、株式等償却	▲37	▲16	▲23	▲7
中間純利益	5,783	5,840	6,809	969

※ 与信関係費用について、正の値は益を、負の値は損を表す。

（参考）

	25 年 9 月期	26 年 9 月期	27 年 9 月期
貸出金（末残）	220.9 兆円	228.4 兆円	236.7 兆円

### 2. 不良債権の状況（銀行単体ベース）

- 不良債権額は 27 年 3 月期に比べ減少、不良債権比率も低下。  
（いずれも平成 11 年 3 月期の金融再生法に基づく開示以降で最低）

	26 年 9 月期	27 年 3 月期	27 年 9 月期
不良債権額	5.9 兆円	5.6 兆円	5.4 兆円
不良債権比率	2.56%	2.38%	2.27%

### 3. 自己資本比率の状況（銀行単体ベース）

- 国際統一基準行の総自己資本比率は、リスクアセットの増加等により、27 年 3 月期に比べ低下。
- 国内基準行の自己資本比率については、リスクアセットが増加したものの、自己資本額も増加したことにより、27 年 3 月期に比べ僅かながら上昇。

（国際統一基準行：10行）

（国内基準行：96行）

	27 年 3 月期	27 年 9 月期
総自己資本比率	14.64%	14.39%
Tier1 比率	13.00%	13.03%
普通株式等 Tier1 比率	12.96%	12.99%

	27 年 3 月期	27 年 9 月期
自己資本比率	10.50%	10.59%

（注1）記載金額・比率は、四捨五入して表示。

（注2）27年9月期の集計対象は106行（地方銀行64行、第二地方銀行41行及び埼玉りそな銀行）

（注3）与信関係費用・不良債権の計数には、再生専門子会社分を含む。